



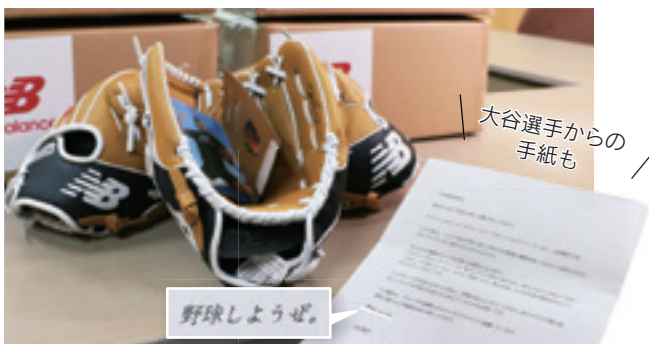
1 三角西港オリジナルくまモン像と一緒に くまモンも「おヒゲ」を付けて 2 式の序盤「あれ、くまモン像がない…」くまモンらしいサプライズに皆が笑顔に 3 式に参加し華を添えた市プロモーション大使の松村佳奈さん



— 三角西港オリジナルくまモン像除幕式 — 三角西港で会えるオリジナルくまモン

12/17 三角西港で、オリジナルくまモン像の除幕式を行いました。三角西港を訪れないと出会えない特別なくまモン像は、同港を設計したオランダ人水理工師ムルドルにちなんだ「山高帽」と「おヒゲ」がチャームポイント。普段は浦島屋の中で“かくれんぼ”をしています。除幕式では、くまモンもおヒゲを付けて踊り、喜

んでいました。除幕式以降は、同港内で「ARくまモン」もかくれんぼをしていて、浦島屋内にあるチラシ「くまモンを探そう!」とスマートフォンがあれば探すことができます。チラシからは、かつて浦島屋に宿泊した文豪・小泉八雲の作品になぞられた子どもたちとくまモンが、かくれんぼをして遊ぶ動画も視聴できます。



大谷選手から寄贈されたグローブ

— 大谷選手からのメッセージ「野球しようぜ」 — 市内小学校に届いた大谷選手から贈り物

12/25 メジャーリーグで活躍する大谷翔平選手からグローブが届きました。これは、大谷選手が全国の小学校へ約6万個を贈ったもので、そのうち宇城市には届いたのは36個。後日、市内の小学校12校に配布しました。このグローブは、子どもたちのスポーツを通じた教育活動などに役立てられます。



寒い中でも元気に呼び掛ける幼年消防クラブの園児たち

— 赤い羽根共同募金の呼び掛け・防火啓発運動 — 子どもたちが募金と防火を呼び掛け

12/22 道の駅不知火で、三角町のわかき保育園と不知火町の白梅幼稚園、両園の幼年消防クラブ18人が募金と防火啓発を呼び掛けました。園児たちは「募金へのご協力をお願いします」「火の用心」と大きな声で来客者にアピール。白梅幼稚園の山内帆乃香さん(6)は「ありがとうございます」と言われてうれしかった。」と話していました。

市ホームページには、
たくさんの写真と詳しい
内容を掲載しています。



ま ち の わ だ い
T O P I C S



(左から)浅井副市長、砂原さん、共に出場した岩村颯太さん

— 全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技大会 — 優勝を糧にこれからの農業に貢献を

12/14 松橋無人ヘリコプター管理組合の西浦猛組合長らが市を訪れ、無人ヘリコプター操縦技術を競う全国大会での優勝を、浅井正文副市長に報告しました。11月に埼玉県で行われた同大会の前後進飛行 A の部に出場した砂原青空さん(24)は「今後も技術を高め、信頼されるオペレーターになりたい。」と意思を語りました。



新たに7人の子育てサポーターが誕生しました

— ファミリーサポートセンター援助会員養成講座 — 地域の心強い子育てサポーターに

11/9・16、12/7・14 市こどもセンターで、保育サービスを提供する援助会員養成講座を開催しました。これは、周りに頼れる人がいない子育て世帯の子どもへの預かりや送迎などを支援するサポーターの養成が目的。修了者は「子育て世代のためにできることから取り組んでいきたい。」などと意気込んでいました。



寄贈されたサッカーボールを手に記念撮影

— サッカーボールを寄贈 — サッカーを通じて健康な体づくりを

12/22 熊本トヨタ自動車(株)とロアッソ熊本から、市内の小学校へ5球ずつサッカーボールが寄贈されました。これは、県内の小学生をスポーツで健康にするために2者が共同で行う地域貢献活動「1ゴールアシスト5」の一環。この事業は平成28年から始まり、県内43市町村に1600球が寄贈されています。



あわてんぼうのサンタさんが少し早めにプレゼント

— 市こどもセンターでクリスマス会を開催 — サンタクロースがやってきた

12/18 市こどもセンター子育てひろばで「クリスマス会」を開催し、親子17組34人が参加しました。クリスマスの音楽遊びや絵本の読み聞かせ、「やさいのうた」を親子で楽しく元気に歌い、会を楽しんだ参加者たち。「親子で楽しむことができ、とてもうれしかったです。」との感想が聞かれました。